

エコアクション21

環境経営レポート



～ 建設現場を男女ともに働きやすい環境とする取り組みの一環として『快適トイレ』を導入しています。～

工事件名：清水橋架替工事（その2）

工事場所：東京都江東区毛利二丁目～大島二丁目間

横十間川に架かる



千代田建設興業株式会社

対象期間：2023年4月～2024年3月

発行日：2024年6月28日

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標及び実績	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
7－1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	13
7－2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	14
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	15
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	16

1. 組織の概要

事業所名及び代表者

千代田建設興業株式会社
代表取締役 吉田 富治雄

所在地と連絡先

東京都江東区扇橋 2 丁目 15-4
TEL : 03-3644-4005
FAX : 03-3644-5695
Email : cccl-office@mbe.nifty.com

環境管理責任者氏名及び担当者

環境管理責任者 : 柏原 榮二
E A 2 1 事務局担当 : 加藤 久美子

事業内容（認証・登録の範囲）

建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、しゅんせつ工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業）

<建設業の許可（東京都知事許可（令和 2 年 10 月 21 日））>

許可の有効期間 令和 2 年 10 月 21 日から令和 7 年 10 月 20 日まで

特定建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、しゅんせつ工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業）、
一般建設業（さく井工事業）

事業の規模（令和 5 年度）

主要工事完工高	500 百万円／年
従業員数	11 名
事業所の延べ床面積	81 m ²

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲（認証・登録範囲）	全組織、全活動
レポートの対象期間及び発行日	表紙に記載

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

下記の環境経営方針を定め、全社的に取り組みます。

＜環境理念＞

千代田建設興業株式会社は、建設業を営むものとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

＜環境保全への行動指針＞

1. 次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、公共工事等の事業活動を通じて、継続的な改善に努めます。
 - ・ 電力及び、燃料の消費に伴う二酸化炭素の削減に取り組みます。
 - ・ 廃棄物の削減及び再資源化の推進（資源循環型社会への対応）
 - ・ 水使用量の削減（水資源の保全）
 - ・ 化学物質の適正管理
 - ・ 社会貢献として、環境に配慮した施工の推進
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを厳守します。
3. 環境への取組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
4. 全社員が環境活動を理解し、率先して取組めるよう教育訓練を実施します。
5. 環境経営システムを見直し、継続的に改善します。

制定日：平成22年12月 7日

改定日：令和 2年 4月 1日

千代田建設興業株式会社

代表取締役

吉田富治雄

4. 環境経営目標

項 目		2018 年度	2024 年度	2023 年度
		基準年	中期目標	目標値
二酸化炭素	事務所の電気 使用量の削減	6, 232 (kWh)	△2% 6, 107 (kWh)	維持管理 6, 232 (kWh)
		2, 836 (kg-CO2)	2, 779 (kg-CO2)	2, 836 (kg-CO2)
	現場の電気使用量 の削減 (現状を維持管理)	9, 447 (kWh)	工事規模・内容に より変わる為、 目標値の設定なし	工事規模・内容に より変わる為、 目標値の設定なし
		4, 299 (kg-CO2)		
	現場のガソリン使 用量の削減	3, 557 (L)	△2% 3, 486 (L)	維持管理 3, 557 (L)
		8, 252 (kg-CO2)	8, 087 (kg-CO2)	8, 252 (kg-CO2)
	現場の軽油使用量 の削減 (現状を維持管理)	7, 185 (L)	工事規模・内容に より変わる為、 目標値の設定なし	工事規模・内容に より変わる為、 目標値の設定なし
		18, 538 (kg-CO2)		
CO2 排出量合計		(10, 866 (kg-CO2)) —	(11, 088 (kg-CO2)) —	
廃棄物	事業所系一般 廃棄物排出量の 削減 (k g)	425	△6% 400	△5% 404
	産業廃棄物の 再資源化促進	100%	100%	100%
	産業廃棄物量の 把握 (t)	610	工事規模・内容に より変わる為、目 標値の設定なし	工事規模・内容に より変わる為、目 標値の設定なし
水 使用量	水使用量の削減 (現状を維持管理) (m ³)	288	維持管理 288 以下	維持管理 288 以下
化学 物質	化学物質使用量の 削減 (塗料の使用)	—	適正管理	適正管理
環境 配慮	再生資源購入率の 増加 (70%以上を維持 管理)	70%	維持管理 70%以上	維持管理 70%以上

※ 弊社では PRTR 法に関する化学物質を使用した製品を購入しているが対象事業者ではないため、環境目標値は設定しておりません。

※ CO2 排出係数は、2018 年度（平成 30 年度）の東京電力 I 号発電機（調整後）の調整後排出係数 0.455kg-CO2/kWh を使用した。

5. 環境経営計画

項 目		2023 年度 目標値	環境経営計画
二酸化炭素	事務所の電気使用量の削減	維持管理 6,232 (kWh) 2,836 (kg-CO2)	◎ unnecessary 照明の停止、こまめな消灯 ◎ unnecessary エアコンの停止、適正な設定温度 (夏季: 28℃ 冬季: 20℃) ◎ 不使用機器の待機電力カット ◎ 照明器具、エアコンフィルターのこまめな清掃 ○ カーボンオフセット付ユニフォームの導入
	現場の電気使用量の削減 (現状を維持管理)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
	現場のガソリン使用量の削減	維持管理 3,557 (L) 8,252 (kg-CO2)	◎ エコドライブの実施 ◎ 走行ルートの適正化 ◎ 走行距離の記録・管理 ◎ 可能な限り公共交通機関を利用する。 ○ 燃費のよい車の購入 (更新時)
	現場の軽油使用量の削減 (現状を維持管理)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
	CO2 排出量合計	(11,088 (kg-CO2))	
廃棄物	事業所系一般廃棄物排出量の削減 (kg)	△5% 404	◎ 分別の徹底 ◎ Reduce (発生抑制)・Reuse (繰り返し使用)・Recycle (再資源化) の徹底 ◎ コピー裏紙の再利用
	産業廃棄物の再資源化促進	100%	◎ 現場内利用の推進 ◎ 再資源化率を上げる (100%を目標とする)
	産業廃棄物量の把握 (t)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
水 使用量	水使用量の削減 (現状を維持管理) (m ³)	維持管理 288 以下	◎ 節水の徹底 ◎ 漏水の点検 ○ 水の総使用量は 288m ³ より多く使わない (現状を維持管理)
化学 物質	化学物質使用量の削減 (塗料の使用)	適正管理	◎ 定期点検 (使用量を量る)
環境 配慮	再生資源購入率の増加 (70%以上を維持管理)	維持管理 70%以上	◎ 現場での使用資材による 再生資源購入率の増加 (70%以上を維持管理)

※ 弊社では PRTR 法に関する化学物質を使用した製品を購入しているが対象事業者ではないため、環境目標値は設定しておりません。

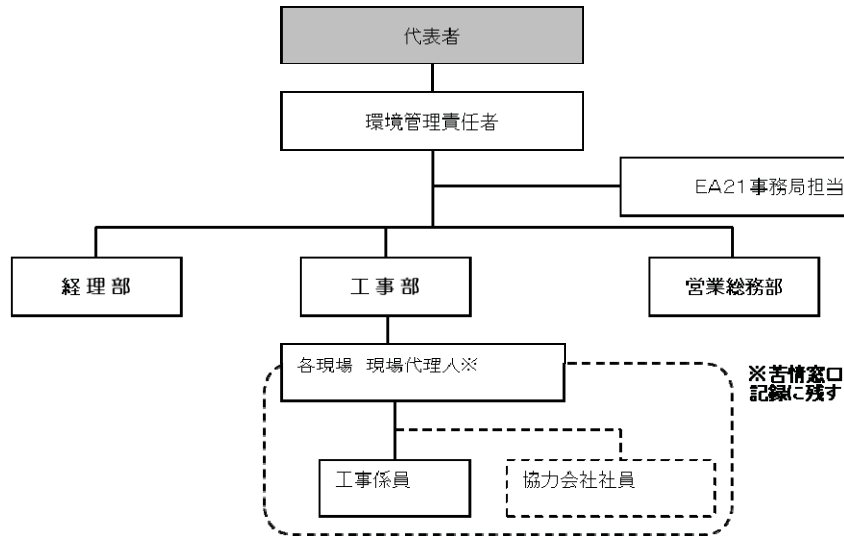
※ CO2 排出係数は、2018 年度 (平成 30 年度) の東京電力 I 号 - パートナ (株) の調整後排出係数 0.455kg-CO2/kWh を使用した。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

項 目		実施した取組内容
二酸化炭素	事務所の電気使用量の削減	◎社員不在エリアの消灯を実施した。 ◎クールビズ、ウォームビズ運動による夏は軽装、冬は重ね着をし、無駄な電力を使用しないようにした。また、エアコン使用時は適温（夏季：28℃ 冬季：20℃）にした。
	現場の電気使用量の削減（現状を維持管理）	◎夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切った。 ◎照明器具、エアコンフィルターは1年に一度、冬の大掃除にて清掃を行った。 ○カーボンオフセット付ユニフォームを購入した。
	現場のガソリン使用量の削減	◎急加速・急停車を防止し、アイドリングストップを行い、エコドライブを実施した。
	現場の軽油使用量の削減（現状を維持管理）	◎事前に最短ルートを確認し、適正な走行ルートを走行した。 ◎走行距離の記録・管理を行った。 ◎可能な限り公共交通機関を利用した。
廃棄物	事業所系一般廃棄物排出量の削減	◎ペットボトル、缶、ダンボール、燃えるごみ、不燃ごみで分別を徹底した。 ◎ペットボトル、缶、ダンボールを資源ごみとしてリサイクルを行った。 ◎コピー裏紙を積極的に再利用した。
	産業廃棄物の再資源化促進	◎現場内利用を行った。 ◎再資源化率100%を実施した。
	産業廃棄物量の把握	○マニフェストによる適正管理を行った。 ○現場での分別を徹底し、混合廃棄物を削減した。
水 使用量	水使用量の削減（現状を維持管理）	◎節水の呼びかけを行い、全社的にトイレ・洗車・水飲みなどの節水活動を行った。 ◎漏水はなかった。 ○水の総使用量は現状を維持管理し、288m ³ より多く使わなかった。
化学物質	化学物質使用量の削減（塗料の使用）	◎指示された種類・使用量を適正に守っています。
環境配慮	再生資源購入率の増加（70%以上を維持管理）	◎現場での使用資材による再生資源の購入を行った。

※ 弊社ではPRTR法に関する化学物質を使用した製品を購入しているが対象事業者ではないため、環境目標値は設定しておりません。

● 実施体制図



役割・責任・権限表

役割	責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認 - 外部コミュニケーション（クレーム等）責任者
EA21事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境経営活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境経営レポートの作成、公表（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長 ・ 事務部門 ・ 工事部門	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び運用管理 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場代理人	- 建設現場における環境経営システムの実施 - 建設現場における環境経営方針の周知 - 建設現場の従業員に対する教育訓練の実施 - 建設現場に関連する環境経営計画の実施及び運用管理 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 建設現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 - 建設現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施 - 住民とのコミュニケーションの窓口
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加
協力会社	決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

その他の活動内容と報告

✚ 環境配慮型施工の実施

本年度の実施運用期間において、環境に配慮した施工として、特に騒音・振動に関して、指定された機械を使用することを目指しました。よって、実施運用期間中の各現場において、低騒音型の建設機械の使用を徹底しました。

0.08m³ 超小旋回ミニショベル PC-30UU コマツカスタマーサポート（株）
《中央区入船三丁目1番地先から同区築地三丁目1番地先間
外3か所配水小管布設替工事》

超低騒音型・排出ガス3次基準
ラベル表示(国土交通省指定)



オールテレーンクレーン ATF220G-5 (株) タダノ
《清水橋架替工事(その2)》

低騒音型 '97 ラベル表示
(国土交通省指定)



オールテレーンクレーン ATF100G-4 (株) タダノ
《清水橋架替工事 (その2)》



低騒音型 '97 ラベル表示
(国土交通省指定)



ホイールローダ WA40-8 (株) 小松製作所
《木場一丁目道路改修工事》



超低騒音型・排出ガス 2014 基準
(国土交通省指定)



0.08m³ 超小旋回ミニショベル PC-30UU (株) 小松製作所
《総武陸橋維持工事 (橋面舗装) その2》



超低騒音型・排出ガス 3 次基準
ラベル表示 (国土交通省指定)



13t 吊りラフテレーンクレーン MR-130Ri (株)加藤製作所
《豎川河川敷公園フットサル場 3 番コート防音工事》



低騒音型・排出ガス 2011 基準
(国土交通省指定)



路面切削 W210Fi ヴィルトゲン社

《南砂一丁目道路改修工事》



低騒音型・排出ガス 2014 基準
(国土交通省指定)



また、本年度の実施運用期間において、環境に配慮した施工として、下記の工法を取り入れました。

今期は、清水橋架替工事（その２）において、仮人道橋の歩行者用通路を全体的に明るくするため、LED ライトの設置を採用しました。

清水橋架替工事（その２）では夜間でも歩行者用通路を安全に通行できるよう、また電気使用量を削減するために、LED を使用したチューブライトを照明として設置しました。

LED ライトを使用することで影ができたり、反射で眩しくなったりすることがなくなるため、歩行者および自転車は安全に通行することができます。また、電気の使用量を削減でき、CO2 排出量の削減を図ることができるため、環境への負荷を低減させる工事となっています。



チューブライト設置状況



その他に

今期は本社事務所において、カーボンオフセット付きウインドブレーカーを購入しました。

カーボンオフセットとは、カーボン（Carbon）＝二酸化炭素（CO₂）、オフセット（Offset）＝打ち消す・相殺する。日常生活や企業活動の中で排出される CO₂のうち、省エネ活動だけではその排出量はゼロにはなりません。そこで、削減できない量の全部または一部を、途上国での CO₂ 削減プロジェクトでオフセット（相殺）することで、地球上の CO₂ 総量として差し引きゼロにする考え方です。

「環境配慮ユニフォーム」を購入することで、ユニフォーム生産などで排出される CO₂ を 1 枚あたり 5kg 削減する事に繋がり、地球温暖化問題に貢献致しました。

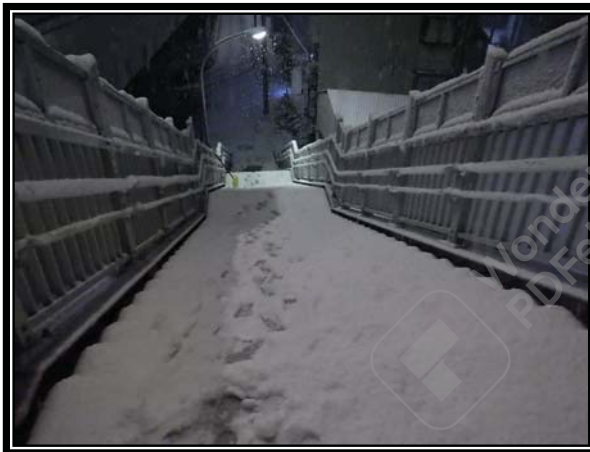




社会貢献活動

- 令和6年2月5日の午後、降雪があり、夜から翌日の早朝にかけて雪かきを行いました。

清水橋（江東区内）
除雪作業完了



総武陸橋（江戸川区内）
除雪作業前

総武陸橋（江戸川区内）
除雪作業完了



7-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

項 目		2018 年度	2023 年度		
		基準年	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素	事務所の電気使用量の削減	6,232 (kWh) 2,836 (kg-CO2)	維持管理 6,232 (kWh) 2,836 (kg-CO2)	+13% 7,055 (kWh) 3,210 (kg-CO2)	×
	現場の電気使用量の削減 (現状を維持管理)	9,447 (kWh) 4,299 (kg-CO2)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	5,421 (kWh) 2,467 (kg-CO2)	—
	現場のガソリン使用量の削減	3,557 (L) 8,252 (kg-CO2)	維持管理 3,557 (L) 8,252 (kg-CO2)	-13% 3,084 (L) 7,154 (kg-CO2)	○
	現場の軽油使用量の削減 (現状を維持管理)	7,185 (L) 18,538 (kg-CO2)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	653 (L) 1,685 (kg-CO2)	—
	CO2 排出量合計	33,925 (kg-CO2)	(11,088 (kg-CO2)) —	(10,364 (kg-CO2)) 14,515 (kg-CO2)	○
	事業所系一般廃棄物排出量の削減 (kg)	425	△5% 404	+16% 493	×
	産業廃棄物の再資源化促進	100%	100%	100%	○
廃棄物	産業廃棄物量の把握 (t)	610	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	3,633	—
	水使用量の削減 (現状を維持管理) (m ³)	288	維持管理 288 以下	±0% 288	○
化学物質	化学物質使用量の削減 (塗料の使用)	—	適正管理	管理を適正に実施した	○
環境配慮	再生資源購入率の増加 (70%以上を維持管理)	70%	維持管理 70%以上	+9% 79%	○

※ 弊社では PRTR 法に関する化学物質を使用した製品を購入しているが対象事業者ではないため、環境目標値は設定しておりません。

※ CO2 排出係数は、2018 年度（平成 30 年度）の東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.455kg-CO2/kWh を使用した。

7-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項 目		環境経営計画	2021 年度 基準年	2028 年度 中期目標	2024 年度 目標	次年度の取組
二酸化炭素	事務所の電気使用量の削減	◎ unnecessary 照明の停止、こまめな消灯	8,008 (kWh)	△2% 7,848 (kWh)	現状維持 8,008 (kWh)	継続して実施
		◎ unnecessary エアコンの停止、適正な設定温度（夏季：28℃ 冬季：20℃）	3,612 (kg-CO2)	3,539 (kg-CO2)	3,612 (kg-CO2)	
	現場の電気使用量の削減 （現状を維持管理）	◎ 不使用機器の待機電力カット	1,794 (kWh)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
		◎ 照明器具、エアコンフィルターのこまめな清掃 ○ カーボンオフセット付ユニフォームの導入	809 (kg-CO2)			
	現場のガソリン使用量の削減	◎ エコドライブの実施 ◎ 走行ルートの適正化 ◎ 走行距離の記録・管理 ◎ 可能な限り公共交通機関を利用する。 ○ 燃費のよい車の購入（更新時）	4,216 (L)	△2% 4,132 (L)	現状維持 4,216 (L)	継続して実施
			9,781 (kg-CO2)	9,585 (kg-CO2)	9,781 (kg-CO2)	
	現場の軽油使用量の削減 （現状を維持管理）	◎ エコドライブの実施 ◎ 走行ルートの適正化 ◎ 走行距離の記録・管理 ◎ 可能な限り公共交通機関を利用する。 ○ 燃費のよい車の購入（更新時）	375 (L)	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
967 (kg-CO2)						
CO2 排出量合計			15,169 (kg-CO2)	(13,125 (kg-CO2))	(13,393 (kg-CO2))	
廃棄物	事業所系一般廃棄物排出量の削減（kg）	◎ 分別の徹底 ◎ Reduce（発生抑制）・Reuse（繰り返し使用）・Recycle（再資源化）の徹底 ◎ コピー裏紙の再利用	493	△2% 483	現状維持 493	継続して実施
	産業廃棄物の再資源化促進		100%	100%	100%	継続して実施
	産業廃棄物量の把握（t）	◎ 現場内利用の推進 ◎ 再資源化率を上げる（100%を目標とする）	2,191	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	工事規模・内容により変わる為、目標値の設定なし	
水使用量	水使用量の削減（現状を維持管理）（m³）	◎ 節水の徹底 ◎ 漏水の点検 ○ 水の総使用量は 288m³ より多く使わない（現状を維持管理）	288	維持管理 288 以下	維持管理 288 以下	継続して実施
化学物質	化学物質使用量の削減（塗料の使用）	◎ 定期点検（使用量を量る）	—	適正管理	適正管理	継続して実施
環境配慮	再生資源購入率の増加（70%以上を維持管理）	◎ 現場での使用資材による再生資源購入率の増加（70%以上を維持管理）	70%	維持管理 70%以上	維持管理 70%以上	継続して実施

※ 弊社では PRTR 法に関する化学物質を使用した製品を購入しているが対象事業者ではないため、環境目標値は設定しておりません。

※ CO2 排出係数は、2021 年度の東京電力 I 号発電所の調整後排出係数 0.451kg-CO2/kWh を使用した。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される主な法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

法律・条例の名称	規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	- 委託契約書の締結、許可証の添付等 - マニフェストの交付、照合確認 - 委託契約書及びマニフェストの5年間保存 「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出 - 特定の産業廃棄物を多量に排出する場合は電子マニフェストを交付	遵守
産業廃棄物処理基準	車両の表示	遵守
建設リサイクル法	- 特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の分別・再資源化 - 分別解体等の計画書を発注者（事業主）へ交付 - リサイクル等完了（工事完成）時に発注者へ書面で報告、実施状況に関する記録を保存	遵守
環境確保条例	- ディーゼル車から排出される粒子状物質量の許容限度 - 不正軽油を使用しない - 指定建設作業に伴う騒音、振動等の規制基準を遵守（届出不要）	遵守
騒音規制法	指定地域においておける特定建設作業、指定建設作業を行う場合は事前に届出（作業開始7日前まで）	遵守
振動規制法	指定地域においておける特定建設作業、指定建設作業を行う場合は事前に届出（作業開始7日前まで）	遵守
江東区清掃リサイクル条例	事業系一般廃棄物又は一般廃棄物と合わせて処理する産廃事業者は、有料ごみ処理券を貼付する	遵守
下水道法・東京都下水道条例	「東京都23区下水排除基準」に適合しない水を下水に排水しない	遵守
フロン排出抑制法	- 適切な場所への設置等 - 冷凍空調機器の簡易点検 - 機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存義務 - 算定漏えい量の報告 - 機器を廃棄する際は、フロン類を回収 - 点検整備記録簿の一定期間の保存義務（機器廃棄後3年を経過するまで）	遵守
小型家電リサイクル法	事業活動に伴い生じた使用済み小型電子機器等を排出する場合、再資源化を適正に実施し得る者に引き渡す	廃棄実績なし
資源有効利用促進法	事業活動に伴い生じた使用済みデスクトップ本体、ノートパソコン、液晶ディスプレイ、ブラウン管ディスプレイ等を排出する場合、再資源化を適正に実施し得る者に引き渡す。	廃棄実績なし
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出 テレビ（液晶・プラズマ含）、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	廃棄実績なし
労働安全衛生法	- 一定の危険有害性のある化学物質（683物質）を取り扱う際のリスクアセスメントの実施を義務付ける - 金属アーク溶接等作業の健康障害防止措置を義務化	遵守
プラスチック資源循環促進法	前年度におけるプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量が250トン以上である排出事業者には該当した場合は、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等に関する目標を定め、これを達成するための取組を計画的に行う。	遵守

遵守の評価

管理状況は良好です。問題はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者：吉田 富治雄

実施日：令和6年6月28日

1. 見直し 関連情報	項目		確認（必要に応じて評価・コメント 記載）
	1	環境経営目標・及び目標 達成状況	事務所の電気使用量の削減や一般廃 棄物排出量の削減など、目標達成さ れていない項目があり、人員、工事 の増加や工事内容などの外的要因に よる一時的な増加と考えるが、今後 も影響が続くことを考慮し目標値の 見直しを検討したので、今後も気を 抜かずに取組を行っていくこと。
	2	環境経営計画及び取組実施 状況	全員で取組む姿勢を常に持つこと。
	3	環境関連法要求一覧及び 遵守	変更なし
	4	外部コミュニケーション・ 対応記録	外部からの苦情はあったが適切に 対応できた。苦情が出ないように することは当然であるが、苦情や 要望があった場合は適切に対応する こと。
	5	問題点の是正・予防処置の 実施状況	事務所の電気使用量の削減や一般廃 棄物排出量の削減などに関して、処 置を施した。問題点は改善傾向を示 している。
	6	取引先、業界、関係行政 機関その他の外部動向	該当なし
	7	そ の 他 ()	

		見直し項目	変更の必要性		「有」の場合の指示事項等
2. 代表者による全体の評価と見直し・指示	1	環境経営方針	事務所	有・ ☒ 無	
			建設	有・ ☒ 無	
			現場等		
	2	環境経営目標	事務所	有・ ☒ 無	
			建設	有・ ☒ 無	
			現場等		
	3	環境経営計画 ・取組項目	事務所	有・ ☒ 無	
			建設	有・ ☒ 無	
			現場等		
	4	環境に関する組織	事務所	有・ ☒ 無	
			建設	有・ ☒ 無	
			現場等		
5	その他のシステム要素	事務所	有・ ☒ 無		
		建設	有・ ☒ 無		
		現場等			
6	その他（外部への対応）	事務所	有・ ☒ 無		
		建設	有・ ☒ 無		
		現場等			
全体評価・コメント（環境経営システムの有効性、環境への取組の適切等）		・全員の協力もあり、外的要因を考慮すると、目標達成できたと言える。EA21 の仕組み、取組状況は概ね良好であり、継続することが大切である。 ・中間審査まで時間があるため、気を抜かず引き締めること。			